

京都山城総合医療センター
第五次経営計画進捗状況
(令和5年度報告)

令和6年7月

国民健康保険山城病院組合

目 次

1. 経営計画主要項目
2. 経営計画の進捗状況
3. 下期(年度)経営状況

1. 第五次経営計画主要項目

(1) 計画期間

令和4年度から令和7年度までの4カ年とする。

来るべき2025年に向け、山城南医療圏における地域医療支援病院として、地域包括ケアシステムを推進する。

(2) 重点テーマ及び取り組み内容

山城南医療圏における地域完結型医療を目指すとともに、限られた医療・介護資源を有効に活用し、持続的かつ安定的な医療提供体制の構築に向け、次の重点テーマに取り組むこととする。

重点テーマ	数値目標（令和7年度）
(1) 経営の安定化	◇延入院患者数 計画最終年度達成目標年間10万人以上 ◇急性期病床利用率 80%以上 ◇回復期病床利用率 90%以上 ◇経常収支比率 100%以上 ◇職員の適正な人員配置（給与費率55%以下） ◇年度末における資金残高の増を目指した安定した経営
(2) 地域連携の強化	◇診療依頼を断らない体制の強化 ◇紹介率85%以上 ◇逆紹介率100%以上 ◇地域の医療従事者研修の充実
(3) 救急医療の充実	◇救急時間内応需率100% ◇救急総応需率90%以上 ◇当地域における救急搬送のカバー率 60%以上 ◇救急受入体制強化のための人員配置
(4) 診療科の充実	◇山城南医療圏における疾患別カバー率の向上 ◇脳神経外科医増員 ◇整形外科医増員 ◇回復期リハビリテーション病棟開設（令和5年4月）
(5) 医療機器の整備	◇計画的な医療機器等の整備・更新 ◇計画的な建物設備の整備・更新 ◇高度医療機器の導入の検討（ロボット手術等）
(6) 職員の意識改革	◇医療の質の向上 ◇働き方改革の推進 ・業務効率化（ICTの活用）の推進 ・タスクシェア・タスクシフトの取り組み ◇超過勤務時間の削減（R3年度対比10%減） ◇患者サービスの向上（待ち時間短縮・接遇向上・患者アンケートの有効活用及び検証等）

2. 経営計画の進捗状況

(令和6年3月末現在)

○ 達成

△ 現在進行中

※ 以降に実施を目指す事項

⇒ 前年度の状況を継続

施策	目標年度			備考
	4年度	5年度	6年度	
(1) 経営の安定化	-	-	-	
◇ 延入院患者数 年間10万人以上 (計画最終年度達成目標：回復期病棟含む)	△	△		<ul style="list-style-type: none"> ・令和4年度 延入院患者数81,897人 ・令和5年度 延入院患者数85,948人(一般病棟76,988人+回復期病棟8,960人) →目標は計画最終年度達成目標なので比較できないが、毎年度予算で定めている業務予定量との比較は、R5年度15,800人のマイナスとなった。
◇ 病床利用率向上への取組 目標利用率 急性期病床 80%以上 回復期病床 90%以上	△	△		<ul style="list-style-type: none"> ・令和4年度 病床利用率 急性期病床 69.9% ・令和5年度 病床利用率 急性期病床 66.1%(対目標▲13.9%) 回復期病床 72.1%(対目標▲17.9%)
◇ 経常収支比率100%以上 ※ 経常収支比率 経常収益(医業収益+医業外収益) /経常費用(医業費用+医業外費用) ×100	△	△		<ul style="list-style-type: none"> ・令和4年度 経常収支比率 105.32%(対目標5.32%超) (参考)営業収支比率 94.0% ・令和5年度 経常収支比率 98.40%(対目標▲1.6%) (参考)営業収支比率 92.4% →コロナ補助金の廃止に伴う医業外収益の大幅減により、経常収支比率が対前年比較で大きく低下
◇ 職員の適正な人員配置(給与費率55%以下)	△	△		<ul style="list-style-type: none"> ・令和4年度 給与費率 58.0% ・令和5年度 給与費率 60.1%(対目標5.1%超) →回復期病棟開設に伴う人員増及び人事院勧告に伴うベースアップ等の影響によるもの
(2) 地域連携の強化	-	-	-	
◇ 診療依頼を断らない体制の強化	△	△		
◇ 紹介率・逆紹介率の更なる向上 (紹介率85%以上・逆紹介率100%以上)	△	△		<ul style="list-style-type: none"> ・令和4年度 紹介率71.7%・逆紹介率88.4% ・令和5年度 紹介率77.3%(対目標▲7.7%) 逆紹介率 104.8%(対目標+4.8%) ・京都府から紹介受診重点医療機関の指定(R5年 8月) ・診療所への定期的な訪問による地域の医療ニーズの把握(継続)

施策	目標年度			備考
	4年度	5年度	6年度	
◇地域の医療従事者研修の充実	△	○		・認定看護師による地域医療従事者への研修会(年3回計142名参加) ・地域で支える「在宅医療」を学ぶ会 年3回開催 計198名参加 ・認知症に関する研修会、がん症例検討会、感染対策研修会など令和5年度各種研修会を合計21回開催
◇患者相談窓口の充実、情報発信・地域への取り組み	-	△		・回復期リハビリテーション病棟開設に伴い脳卒中患者及び家族への適切な情報提供及び相談支援として脳卒中相談窓口の運用を開始(R5年4月)(継続) ・病院事業の地域への発信の一環として、Instagramの開始(R6年 3月)
(3)救急医療の充実	-	-	-	
◇救急受容率の向上の取組 (時間内応需率100%・総受容率90%以上)	△	△		・平日時間内応需 令和4年度実績95.5% 令和5年度実績97.5%(対目標▲2.5%) ・総受容率 令和4年度実績80.1% 令和5年度実績84.3%(対目標▲5.7%) →目標値には届かなかったものの、平日時間内応需率及び総受容率ともに前年度より改善 ・相楽中部消防との救急症例検討会の定期的な実施(精華消防も令和4年8月から参加) ・救急受入の強化(R5年12月 内科ER体制構築) ・脳外科医のオンコール体制構築による血栓回収(脳卒中)ホットラインの稼働開始(救急隊との連携強化の促進)(R6年 2月)
◇救急受入体制強化のための人員配置	△	△		・専任の常勤医師1名の配置及び非常勤医師(時間外)による応援 ・救急認定看護師の配置
(4)診療科の充実	-	-	-	
◇地域完結型医療に向けた取組 ・地域の医療ニーズへの対応 ・山城南医療圏における疾患別カバー率の向上	△	△		・産婦人科救急診療室の設置及び助産師外来開設に向けた産婦人科外来の改築(R6年1月) ・がん・難病・透析・医療的ケア児等、当院で担うべき対象患者を中心とした訪問看護の継続 ・京都府周産期医療ネットワーク事業への参加(府内の関係医療機関がネットワークを構築することにより周産期医療の質の向上を図る) ・山城南医療圏域における新型コロナウイルス感染患者対応の継続 ・コロナ後遺症外来の継続
◇医師が不足する診療科について増員に向けた取組	△	△		・整形外科1名増員し3名体制へ(R5年度)
◇回復期リハビリテーション病棟開設(令和5年4月)	△	○		・回復期病棟 令和5年度延入院患者数8,960人

施策	目標年度			備考
	4年度	5年度	6年度	
(5) 医療機器の整備	-	-	-	
◇計画的な医療機器等の整備・更新	△	△		<ul style="list-style-type: none"> ・検体検査システム更新(R5年度) ・循環器システム用画像ビューア更新(R5年度)
◇計画的な建物設備の整備・更新	△	△		<ul style="list-style-type: none"> ・蒸気ボイラーの更新(R5) ・チラー(冷温水循環装置)の更新(R5)
(6) 職員の意識改革	-	-	-	
◇医療の質の向上 (医療の質及びホスピタリティーの向上等)	△	△		<ul style="list-style-type: none"> ・病院職員全体のスキルアップのための 救急症例検討会(年4回開催 参加者計107名(相楽・精華消防含む)) ICLS(医療従事者のための蘇生トレーニング)研修(年4回計48名参加) 医療メディエーター(医療対話推進者)研修(年2回計55名参加)などの各種研修会の実施 (病院で行う研修会は地域の医療従事者に対しても開放) ・個々の専門分野のスキルアップのための各種学会や外部研修への参加
◇働き方改革の推進 ・業務効率化(ICTの活用)の推進 ・タスクシェア・タスクシフトの取り組み (医師から診療技術職への業務移管等)	△	△		<ul style="list-style-type: none"> ・労働時間の適正管理について管理職への周知徹底を図り、各所属長において、職員の時間外勤務時間の把握・分析及び縮減に努めている。 ・就業管理システムの契約締結及び導入に向けたシステムのカスタマイズ、職員操作研修会の実施 ・検査・処置等について業務範囲が拡大された診療技術職に対する研修会への参加(R5年度) ・臨床工学技師 10名 ・臨床検査技師 9名 ・放射線技師 11名
◇超過勤務時間の削減(R3年度対比10%減)	△	△		
◇患者サービスの向上 (待ち時間短縮・接遇向上・患者アンケートの有効活用及び検証等)	△	△		<ul style="list-style-type: none"> ・病児・病後児保育室(おひさま)R5年4月開設(木津川市と共同運営)(R5年計122名利用) ・病院内外来及び病棟デイルームにWi-Fi設備設置(継続)(R4年6月) ・職員の接遇向上を目的とした研修会の定期的な開催(継続)

3. 令和5年度 下期(10月～3月)及び年間の経営状況

(1) 収益的収支

(単位:千円, %)

区 分		年 度		令和5年度 下期	令和5年度 (A)	令和4年度 (B)	前年度比 (A)-(B)	
収 益 的 収 入	1. 医 業 収 益 (A)			3,883,593	7,809,251	7,775,936	33,315	
		(1) 入 院 収 益		2,463,738	4,938,235	4,893,206	45,029	
		(2) 外 来 収 益		1,249,139	2,556,352	2,576,637	△ 20,285	
		(3) そ の 他 医 業 収 益		170,716	314,664	306,093	8,571	
	2. 医 業 外 収 益 (B)			612,195	928,861	1,404,705	△ 475,844	
		(1) 補 助 金		279,554	279,554	758,018	△ 478,464	
		(2) 長 期 前 受 金 戻 入		85,652	171,722	153,559	18,163	
		(3) そ の 他		246,989	477,585	493,128	△ 15,543	
		収 入 計 (C)		4,495,788	8,738,112	9,180,641	△ 442,529	
	収 益 的 支 出	1. 医 業 費 用			4,567,700	8,452,080	8,267,944	184,136
			(1) 給 与 費		2,702,786	4,690,638	4,512,359	178,279
			(2) 材 料 費		1,047,620	2,102,035	2,054,730	47,305
			(3) 経 費		561,720	1,145,257	1,216,808	△ 71,551
			(4) 減 価 償 却 費		244,972	495,693	463,395	32,298
			(5) そ の 他		10,602	18,457	20,652	△ 2,195
2. 医 業 外 費 用				378,158	428,028	448,618	△ 20,590	
		(1) 支 払 利 息		27,107	56,546	62,590	△ 6,044	
		(2) そ の 他		351,051	371,482	386,028	△ 14,546	
			支 出 計 (D)		4,945,858	8,880,108	8,716,562	163,546
		経 常 損 益 (C)-(D) (E)		△ 450,070	△ 141,996	464,079	△ 606,075	
	特 別 利 益 (F)		0	597	128	469		
	特 別 損 失 (G)		15,667	115,898	67,314	48,584		
	特 別 損 益 (F)-(G) (H)		△ 15,667	△ 115,301	△ 67,186	△ 48,115		
	当 年 度 純 利 益 (又 は 純 損 失) (E)+(H)		△ 465,737	△ 257,297	396,893	△ 654,190		
	経 常 収 支 比 率 (C)/(D)×100		-	98.4%	105.3%	△ 6.9		

(2) 患者数

(単位:人)

	5年度下期 (10～3月)実績	5年度	4年度	前年比
外来延患者数	65,361	133,377	140,385	△ 7,008
入院延患者数	44,156	85,948	81,897	4,051
新入院患者数	2,925	5,894	5,762	132
総紹介患者数	5,161	10,573	10,155	418
うち初診紹介患者数	3,608	7,536	7,385	151

(3) 職員数

(単位:人)

	5年度 (3月1日時点)	4年度 (3月1日時点)	前年比
医師数	65	63	2
看護師数	249	245	4
医療技術職員数	102	94	8

※職員数には会計年度任用職員(フルタイム)を含む

